

## 「日本健康相談活動学会誌」投稿規程

### 1. 投稿者

投稿者は共著者を含め、すべて一般社団法人日本健康相談活動学会会員であること。なお、ただし編集委員会から依頼した原稿はこの限りでない。なおここで言う会員とは、一般社団法人日本健康相談活動学会定款第7条に基づく「社員・学生社員」を指す。

### 2. 原稿の著作権

- 1) 本誌に掲載された原稿の著作権は一般社団法人日本健康相談活動学会に帰属する。
- 2) 論文の著者は論文を投稿する際に著作権譲渡承諾書を提出する。なお、共著者がいる場合は、論文の筆頭者が著作権譲渡承諾書を提出する。

### 3. 投稿上の注意、及び原稿の種類

- 1) 原稿は、健康相談活動・健康相談に関する研究（養護教諭としての資質・能力の向上並びに、健康相談活動・健康相談の学術研究の振興につながり、子どもたちの成長と発達に貢献する実践、養成教育、現職研修など）の進展に寄与するものであること。
- 2) 投稿論文の内容は他の出版物（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないもの（予定も含む）に限る。また、本誌投稿中、他誌への投稿をしてはならない。
- 3) 同一著者かつ同一テーマでの投稿は、先行する原稿の審査が終了するまでは受け付けない。

#### 4) 倫理規程

投稿にあたっては、対象者の同意や所属機関の承認を得るなどのプライバシーに配慮すること。論文内容が倫理的配慮を必要とする場合は、方法に倫理問題について記載すること。

#### 5) 原稿の種類

原稿の種類は、原著、総説、研究報告、実践研究、資料、特別報告、その他であり、著者はそのいずれかを明記しなければならない。それぞれの内容は下記のとおりである。なお、構成については表1・2を参照すること。

【原著】論文のうち、研究そのものが独創的で、新しい知見や理解が論理的に示されており、健康相談活動・健康相談の知見として意義が明らかである論文。

【総説】健康相談活動・健康相談に関わる特定のテーマについて多目的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察した論文。

【研究報告】健康相談活動・健康相談の発展に寄与すると認められる研究論文。

【実践研究】健康相談活動・健康相談に関して研究的にまとめられた実践。

【資料】健康相談活動・健康相談に関する有用な資料、情報、海外動向など。

【特別報告】編集委員会が設定したテーマについて執筆した論文であり、編集委員会が査読を行う。

【その他】学会が会員に知らせるべき記事、健康相談活動・健康相談に関する専門書（学術書）の【書評】、【論文の紹介】、【会員の声】等。

### 4. 投稿手続きと送付先

1) 原稿は、正論文と副論文に分けて、表紙、要旨、本文、図表を全てまとめて一つの PDF ファイルにし、日本健康相談活動学会のホームページの学会誌論文投稿フォームより投稿する。

1) 原稿は、正論文（編集委員会保存用）と副論文（査読用）の2部を用意する。副論文は、査読用なので、謝辞や

付記(著者が特定されるような記載)を抜く。また表紙については、後述の 10. 10)を参照のこと。なお、投稿に際しては、次の3点をPDFファイルにし、論文とともに学会誌論文投稿フォームより送付する。

- ・著作権譲渡承諾書(投稿者全員の直筆記名のもの)
- ・査読費を振込んだことが確認できるもののコピー
- ・所定のチェックリスト(投稿者の直筆記名のもの)

3) やむをえない事情により、学会誌論文投稿フォームより投稿できない場合、原稿は封筒の表に「日本健康相談活動学会誌原稿」と朱書し、学会事務局宛の郵送記録が残る方法(書留、郵パック等)で郵送する。

#### 5. 原稿の受付および採否

- 1) 原稿の受付は随時受付とする。
- 2) 原稿の採否および種別については、査読を経て、編集委員会が決定する。
- 3) 編集委員会の審査により返送され、再提出を求められた原稿は、指定された締め切り期日までに再投稿すること。期日を過ぎて再投稿された原稿は、新規受付として、次号においてとり扱われる。
- 4) 編集委員会の判定により、論文の種類の変更を著者に勧めることがある。
- 5) 査読結果は、投稿者に電子メールにより知らせる。

6. 投稿された原稿は、理由の如何を問わず返却しない。

7. 著者校正は1回とする。ただし校正の際の加筆は原則として認めない。

8. 学会誌の発刊は年2回とする。

9. 投稿原稿の1編は原稿の種類を問わず、図及び表を含めて本文を下記の枚数以内にとどめることを原則とする。

原著 1編 8頁、総説 1編 8頁、研究報告 1編 8頁、実践研究 1編 8頁、資料 1編 8頁、特別報告(随時提示する)、その他 1編 2頁

#### 10. 原稿執筆の要領

1) 原稿はA4版(1行40字×35行、1400字)で横書きとする。文字サイズは10ポイント、フォントはMS明朝体、ローマ字はヘボン式を用いることが望ましい。

査読を終了した最終原稿は、WordまたはExcelファイルでメールにて提出する。

2) 本文には、頁ごとに左側に行番号を入れる。

3) 文章は新かなづかいを用いて、楷書にて簡潔に記述する。句読点、カッコ等(「 ( { ~ )」)は1字分とする。

4) 項目番号の順番は、原則として下記のとおりとする。

I 1 1) (1) ① i

5) 外来語はカタカナで、外国人名や日本語になりきっていない単語は、原則として活字体の原綴りで書く。

6) 数字はすべて算用数字とし、2桁以上の場合、1文字分に2文字を収める。

7) 図表の原図は、明瞭に作成する。縮小することが適当と思われる図表は、原図と縮小した図表をともに作成し、その旨を明記する。印刷製版に不向きと思われる図表は書き換え又は割愛を求めることがある(専門業者に制作を依頼したものの必要経費は、著者負担とする)。

8) 図表は全て本文とは別紙とし、本文中に挿入を希望する箇所に原稿の右の欄外に朱書により指定する。

## 9) 文献記載の様式

(1) 数字はすべて算用数字とし、半角とする。

(2) 著者が多数の場合は最初の3名を記し、あとは「他」(英文はet al.)とする。

(3) 文献の記載方法は以下のとおり引用番号順とする。

① 引用文献は、本文中の引用箇所の右肩に「……<sup>1) 2)</sup>」、「……<sup>1) .9) -11)</sup>」のように番号をつけ、本文原稿の最後一括して引用番号順に記載する。

② 記載方法は下記の例示のごとくとする。

- 雑誌掲載論文 著者名：表題、雑誌名、巻(号)、頁一頁、発行年
  - ・ 遠藤伸子、三木とみ子、大沼久美子他：養護診断開発の方途と養護診断開発システムに関する研究、日本健康相談活動学会誌、4 (1)、47-65、2009
  - ・ Asakura, T, Gilbert CG, Kyoko A: Assessing a culturally appropriate factor structure of the Center for Epidemiologic Studies Depression (CES-D) scale among Japanese Brazilians, International Journal of Culture and Mental Health, 8(4), 426-445, 2015
- 単行本 著者名(分担執筆者名)：表題、編集・監修者名、書名(版数)、引用頁一頁、出版社名、発行地、発行年
  - ・ 三木とみ子：養護の本質と概念、(三木とみ子編)、新訂養護概説、1-4、ぎょうせい、東京、2018
- 翻訳本 原著者名(原書の発行年)／訳者名(翻訳書の発行年次)：翻訳書の書名(版)、頁一頁、出版社名、発行地
  - ・ ミルトン・メイヤロフ(1971年)／田村真、向野宣之(1987年)：ケアの本質—生きることの意味(初版)、161-171、ゆみる出版、東京
- ホームページ、インターネットウェブサイト  
引用内容が明確に記載されているURLを示し、アクセスした年月日を( )内に記載する。書籍とウェブサイト双方に同一の引用文献がある場合は、書籍を優先引用文献とする。  
ウェブサイトから引用する場合
  - ・ 文部科学省：中央教育審議会「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」(答申)(平成20年1月17日)  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1216829\\_1424.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1216829_1424.html) (2020年1月30日にアクセス)

10) 原稿には表紙をつけ、①表題、②英文表題、③著者名(和文及びローマ字)、④所属機関名、⑤代表者の連絡先(所属機関の住所(郵便番号含む)、郵便物受け取り住所、個人の電話番号、メールアドレス)、⑥図表や写真の数、⑦希望する原稿の種類、⑧別刷希望部数、⑨編集委員会への連絡事項を明記する。正論文用には①～⑨まで、副論文用は査読用なので①②⑥⑦を記入する。

11) 投稿原稿には、和文要旨(400字程度)及び5つ以内の英文と和文のキーワード(記述順序は、重要な

ワード順)をつける。これらは、表紙及び本文とは別に別紙として用意する。

12) 原著の場合は和文要旨に対応した英文要旨(400words程度)をつける。また、他の論文についてもできれば英文要旨をつけることが望ましい。尚、英文要旨は、採択後、ネイティブによる専門業者の校閲を受け、証明書と併せて2週間以内に提出する。

13) その他、文章表記に関しては、本学会が作成した「文章表記方法の参考資料」をホームページ上で確認し、参照する。

#### 11. 著者が負担すべき費用

1) 掲載料 規定枚数を超過した分については、必要経費を著者負担とする。超過稿は1頁8,000円とする。

2) 原著、総説、研究報告、実践研究、資料、その他など、編集委員会から依頼した原稿以外の投稿に際しては、査読のための費用として、7,000円を下記口座に振込む。投稿の際には、振込が確認できるもののコピーをPDFファイルにて送付する。なお、やむを得ない理由で振込が確認できるもののコピーを送信できない場合には、学会事務局宛に郵送する。

##### 【振込先】

ゆうちょ銀行

記号：10190 番号：44899141

加入者名：日本健康相談活動学会 編集委員会 (ニホンケンコウソウダツソウツウカクカイ ヘンシュウイイカイ)

他の金融機関のATMからお振り込みの場合の口座記号番号

店名：〇一八(ゼロイチハチ)店

店番：018

預金種目：普通預金

口座番号：4489914

加入者名：日本健康相談活動学会 編集委員会 (ニホンケンコウソウダツソウツウカクカイ ヘンシュウイイカイ)

※依頼人名は筆頭者名とする。

3) 別刷料 別刷はすべて実費を著者負担とする。

別刷り代金(税別)

本文16ページまで

50冊まで ¥5,000-

51冊～ @90-

例) 80冊の場合、5,000+30×@90で7,700円。別刷の請求書は発送時に同梱するので、各自で入金すること。

4) その他 図表等、印刷上特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。

付則 この規程は2005年2月26日から施行する。

付則 この改正規程は2006年2月18日から施行する。

付則 この改正規程は2007年2月18日から施行する。

付則 この改正規程は2008年3月2日から施行する。

- 付則 この改正規程は2009年3月1日から施行する。
- 付則 この改正規程は2011年2月20日から施行する。
- 付則 この改正規程は2014年4月1日から施行する。
- 付則 この改正規程は2015年3月1日から施行する。
- 付則 この改正規程は2016年3月6日から施行する。
- 付則 この改正規程は2017年1月22日から施行する。
- 付則 この改正規程は2018年3月4日から施行する。
- 付則 この改正規程は2019年3月3日から施行する。
- 付則 この改正規程は2020年2月23日から施行する。
- 付則 この改正規程は2020年10月25日から施行する。
- 付則 この改正規程は2021年3月28日から施行する。
- 付則 この改正規程は2022年6月26日から施行する。
- 付則 この改正規程は2022年11月12日から施行する。
- 付則 この改正規程は2023年7月6日から施行する。
- 付則 この改正規程は2023年10月1日から施行する。
- 付則 この改正規程は2023年12月3日から施行する。
- 付記 この改正規程は2024年3月30日から施行する。